

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 8 月 12 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/12 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	29.7	3.8 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	37.9	6.00 kPa g	A系： 0.03 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	36.0	0.24 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 Vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/12 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	30.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.2 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	27.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	26.6 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	8/7 10:22 ~ 移送実施中

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/12 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 5. その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。

7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。

8/7～ ドライアイス約1トン/日を追加で投入を開始。

- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/8/12 9:50～ サブドレン他水処理施設の設置が一部完了したため、本設備において放射性核種の除去能力(トリチウムを除く)を確認する浄化性能確認試験を行うため、順次、新設を含むサブドレンピット14箇所から集水タンクへ地下水の汲み上げを開始。浄化性能確認試験については、地下水が500トン汲み上がった段階で試験を開始する予定。
- ・H26/8/12 9:55頃 J4タンクエリアに置いてあるトラッククレーンから油が漏れていることを発見。漏えいした油は、トラッククレーンの作動油で、漏えい範囲はコンクリート上の地面に約10cm×約30cm(深さなし)で、油の滴下は停止している。  
11:30 双葉消防本部より「危険物の漏えい事象である」と判断をいただいている。漏えいした油は、吸着マット等により拭き取りを実施。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・8/6 18:44 地下水バイパス揚水井 No.12 の分析結果(8/5 採取)において、トリチウム濃度が1,900Bq/Lであり、一時貯留タンクの運用目標値1,500Bq/Lを上回っていることを確認したことから、当該揚水井の汲み上げを停止。地下水バイパス揚水井 No.12 のトリチウム濃度が運用目標値を超えていることから、今後、一時貯留タンク内の評価を行う。なお、地下水バイパス揚水井 No.12 の分析結果については、第三者機関による分析においても同等の結果であることを確認。
- ・1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 8/2]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、8/12 10:02 から海洋への排水を開始。同日 10:21 に漏えい等の異常がないことを確認。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上